

鋁工業指数参考図表集
(平成31年1月速報)

平成31年2月28日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成31年1月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

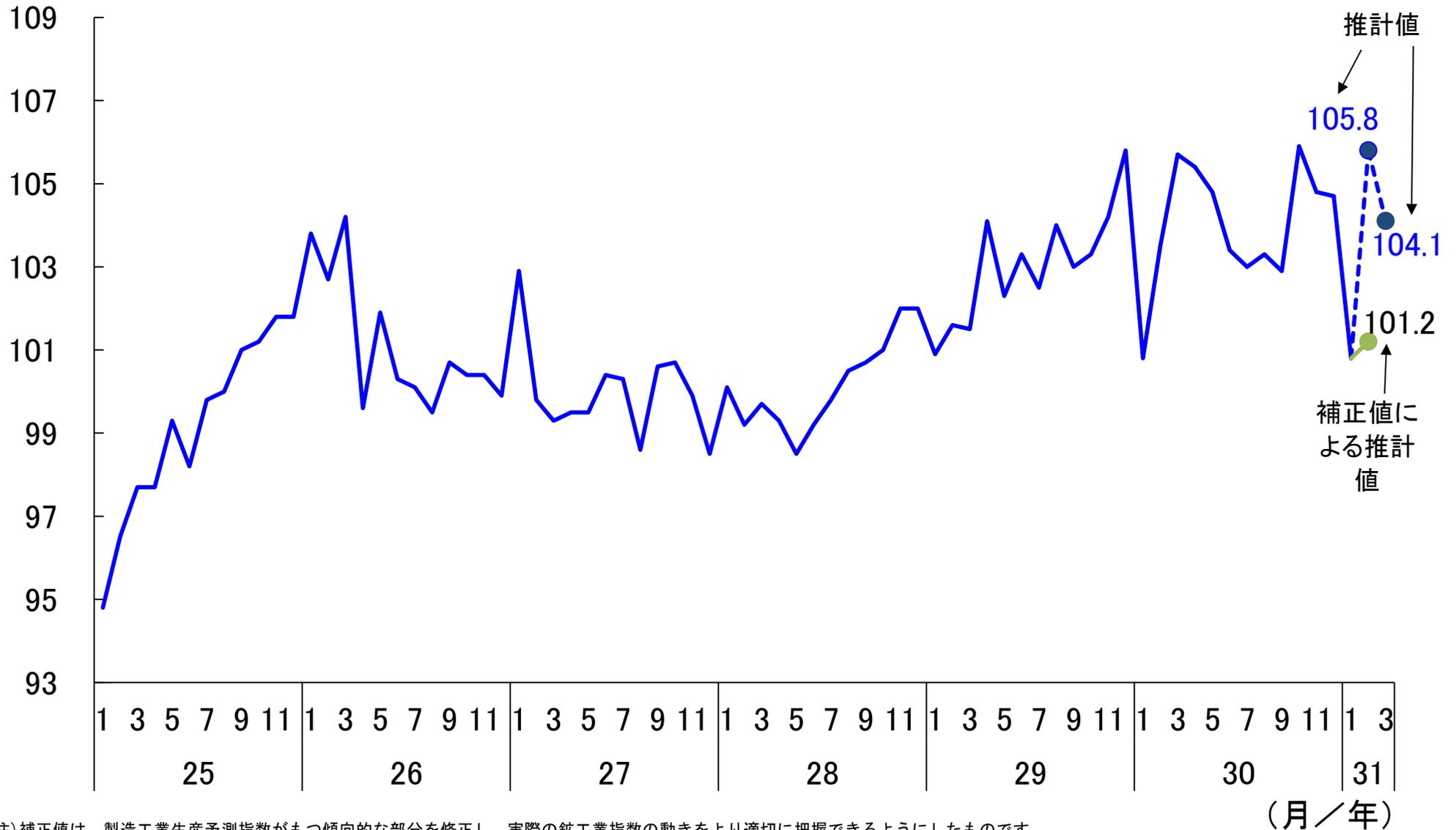
生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.8	99.2	101.6	108.5
前月比	-3.7%	-4.0%	-1.5%	0.8%
指数水準	H30.1 100.8以来 (超)H28.9 100.7以来 ①H25.1 94.8 ②H25.2 96.5 ③H25.3,4 97.7	H28.6 98.8以来 ①H25.1 96.9 ②H25.2 97.6 ③H27.12 98.3	H30.11 101.4以来 ①H26.3 95.3 ②H25.11 95.6 ③H25.8 96.2	H30.1 109.7以来 I H30.1 109.7 II H31.1 108.5 III H30.12 107.6
前月比の動き	3か月連続－ (H30.11～当月)	2か月ぶり－ (H30.11以来)	3か月ぶり－ (H30.10以来)	2か月連続＋ (H30.12～当月)
前月比幅	H30.1 -4.7%以来 ①H30.1 -4.7% ②H26.4 -4.4% ③H31.1 -3.7%	H30.1 -4.9%以来 ①H26.4 -6.0% ②H30.1 -4.9% ③H31.1 -4.0%	H30.6 -1.7%以来 ①H25.11 -2.2% ②H28.10 -2.0% ③H26.3 -1.8%	H30.12 5.1%以来 I H30.1 8.3% II H26.4 7.4% III H30.12 5.1%
前年同月比(原指数)	0.0%	-0.9%	1.2%	-1.1%
前年同月比の動き	—	2か月連続－ (H30.12～当月)	3か月連続＋ (H30.11～当月)	2か月ぶり－ (H30.11以来)
前年同月比幅	—	H30.12 -3.1%以来 ①H26.11 -5.3% ②H28.1 -4.7% ③H26.8 -4.1%	H30.12 1.9%以来 I H26.11 7.0% II H26.12 5.9% III H26.8 5.5%	H30.10 -1.4%以来 ①H26.1 -10.5% ②H26.3 -9.5% ③H26.2 -7.7%

1) I～IIIは27年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(27年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるようにしたものです。

平成31年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	4.4%	2.8%
	品目	航空機部品	14.7%	3.7%
	2位の業種	無機・有機化学工業	0.9%	1.1%
	品目	石油化学系基礎製品	2.0%	0.6%
		その他の有機化学工業製品	5.2%	0.6%
	3位の業種	石油・石炭製品工業	0.6%	0.2%
品目	石油製品	0.8%	0.2%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-8.6%	-37.2%
	品目	乗用車	-8.8%	-18.7%
		車体・自動車部品	-7.8%	-13.1%
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-9.9%	-22.0%
	品目	電池	-25.2%	-5.8%
		無線通信機器	-32.9%	-4.5%
3位の業種	生産用機械工業	-9.8%	-20.3%	
品目	建設・鉱山機械	-12.8%	-4.8%	
	その他の生産用機械	-11.3%	-4.6%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成31年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	航空機部品	14.7%	3.7%
	2位	電子デバイス	10.7%	2.8%
	3位	缶類	3.0%	0.8%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	乗用車	-8.8%	-18.7%
	2位	車体・自動車部品	-7.8%	-13.1%
	3位	集積回路	-16.2%	-10.8%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	2.7%	12.9%
		合成洗剤	4.6%	0.6%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	-3.2%	-4.8%
		橋りょう	-30.1%	-1.3%
		アルミニウム製建具	-8.2%	-1.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-6.9%	-16.7%
		普通乗用車	-9.8%	-13.9%
		小型乗用車	-5.3%	-1.7%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	-10.0%	-37.2%
		一般用蒸気タービン	-96.9%	-13.4%
		ショベル系掘削機械	-13.0%	-4.3%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-3.5%	-46.9%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	-37.7%	-13.5%
		リチウムイオン蓄電池	-38.7%	-5.0%

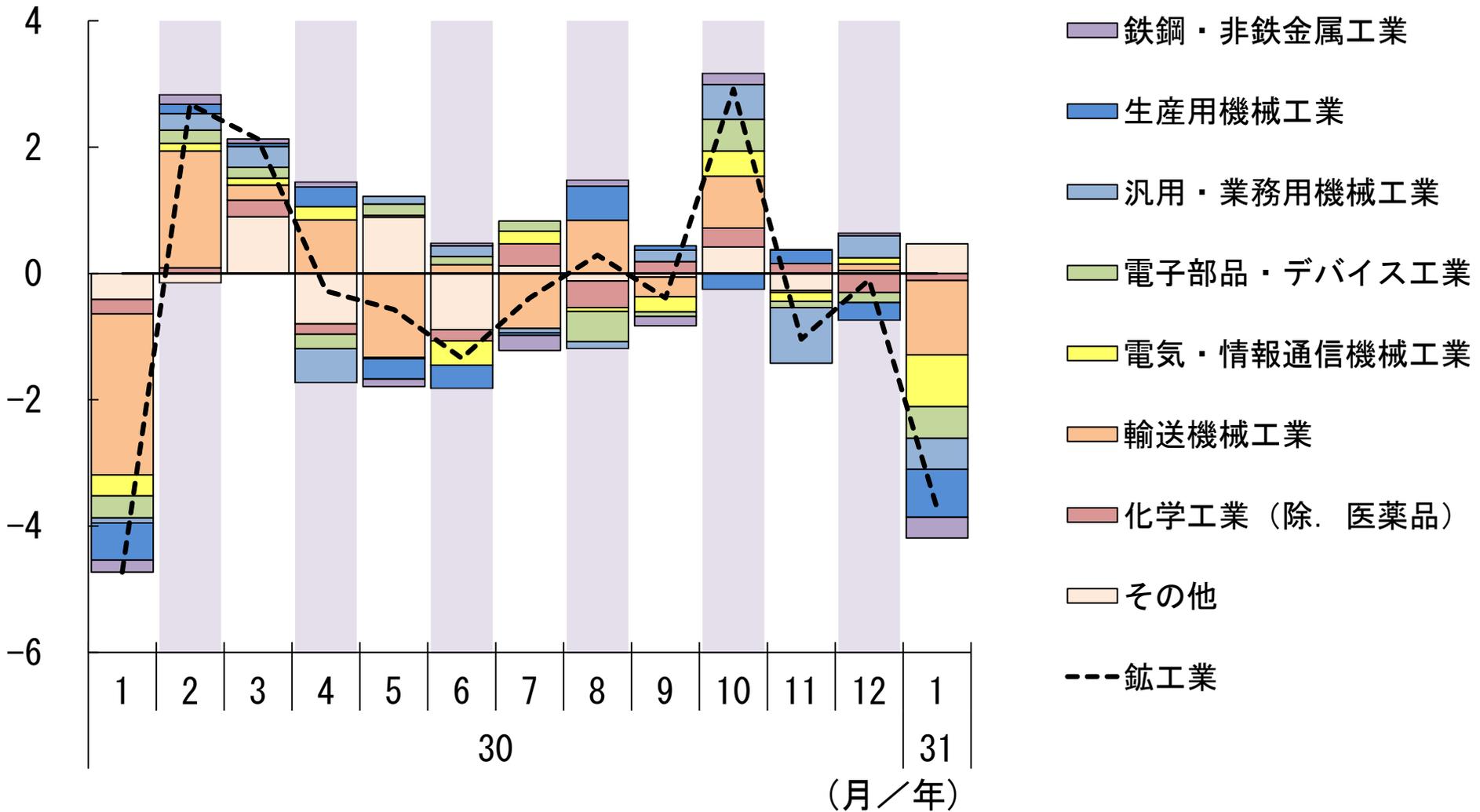
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

平成31年1月の生産指数は、輸送機械工業などが低下したため、前月比-3.7%の低下。

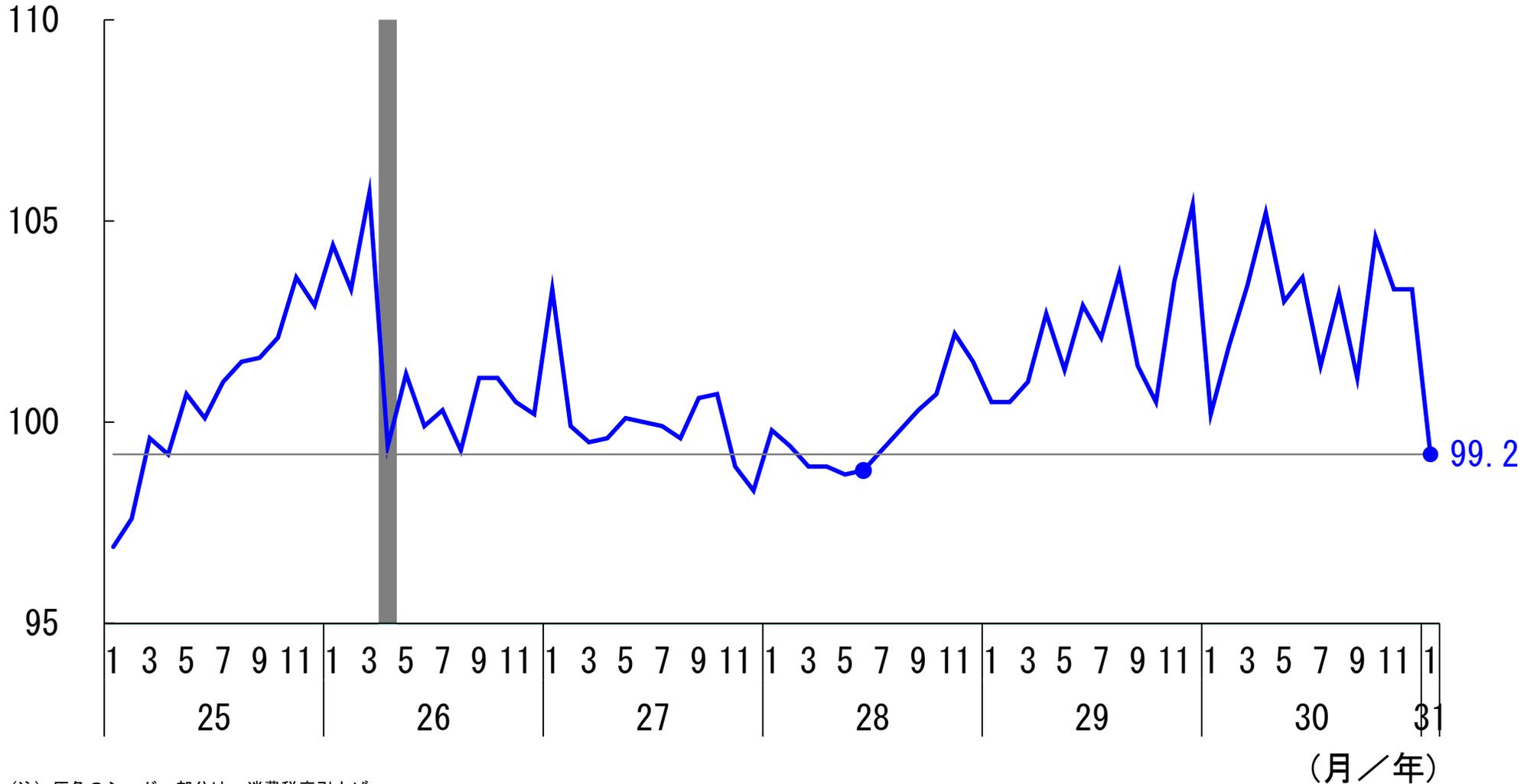
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成31年1月の鋳工業出荷指数は、99.2(前月比-4.0%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年6月の98.8以来の指数水準。

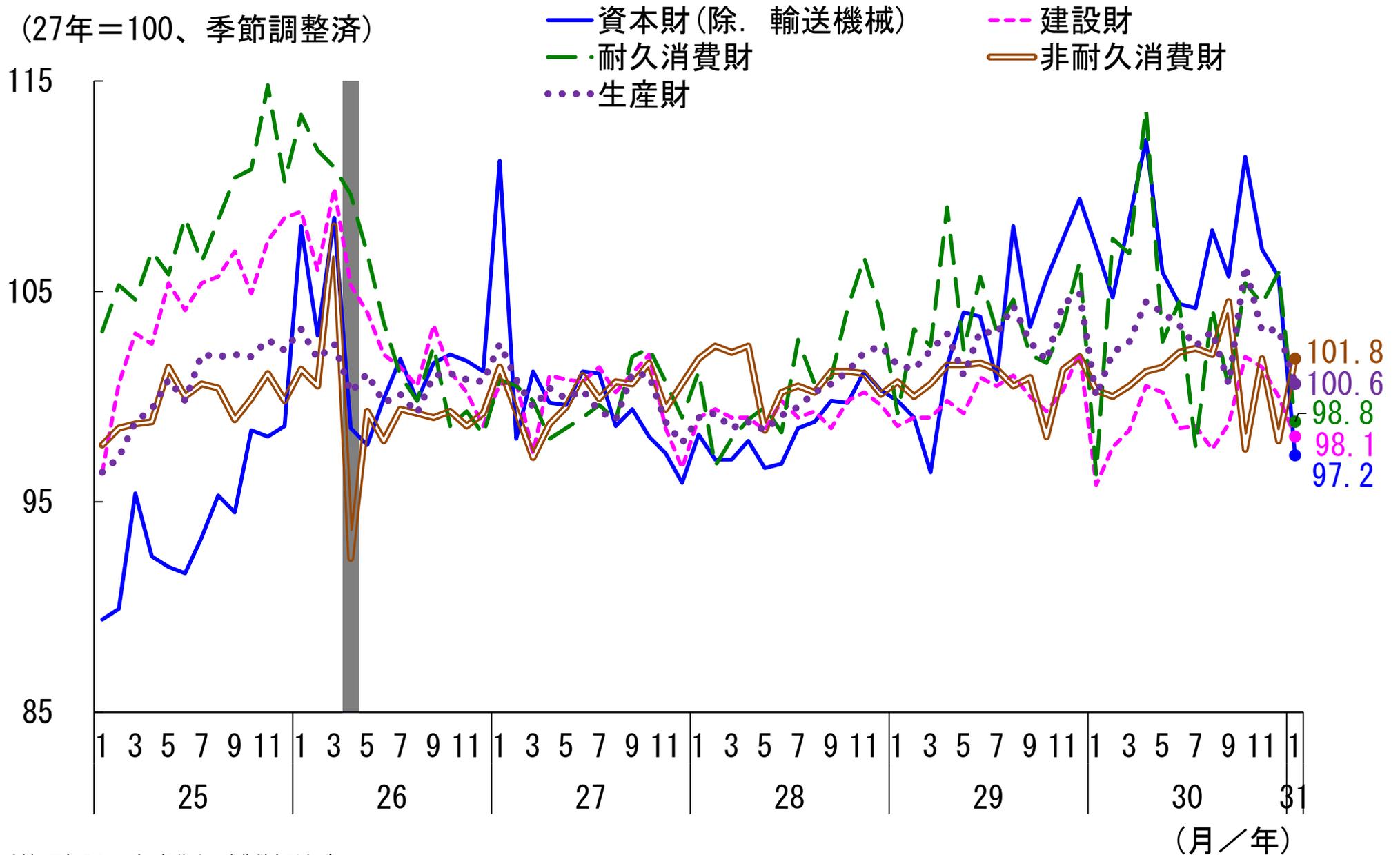
(27年=100、季節調整済)



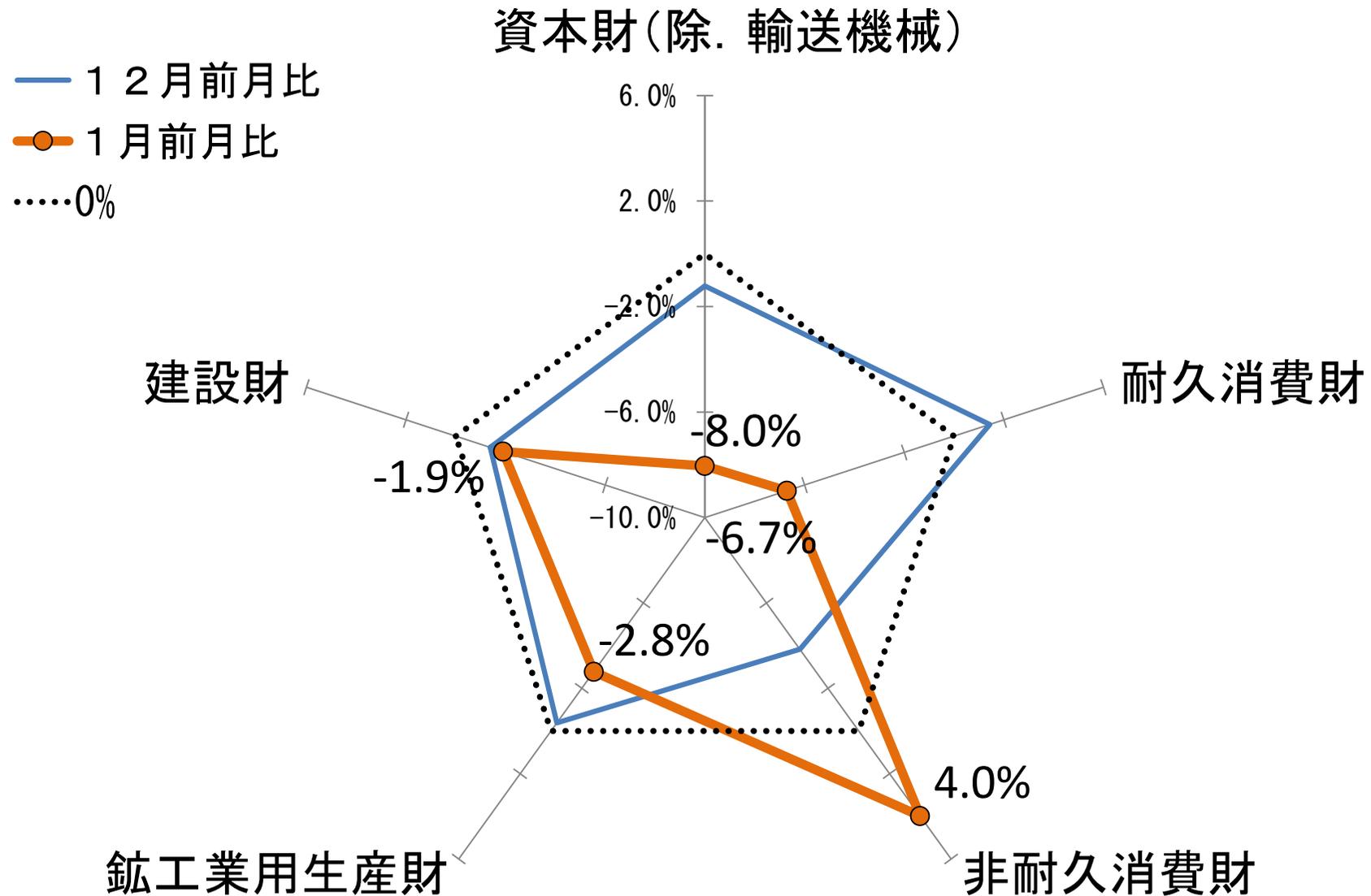
(注) 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(27年=100、季節調整済)



財別出荷指数の前月比比較(平成30年12月、平成31年1月)

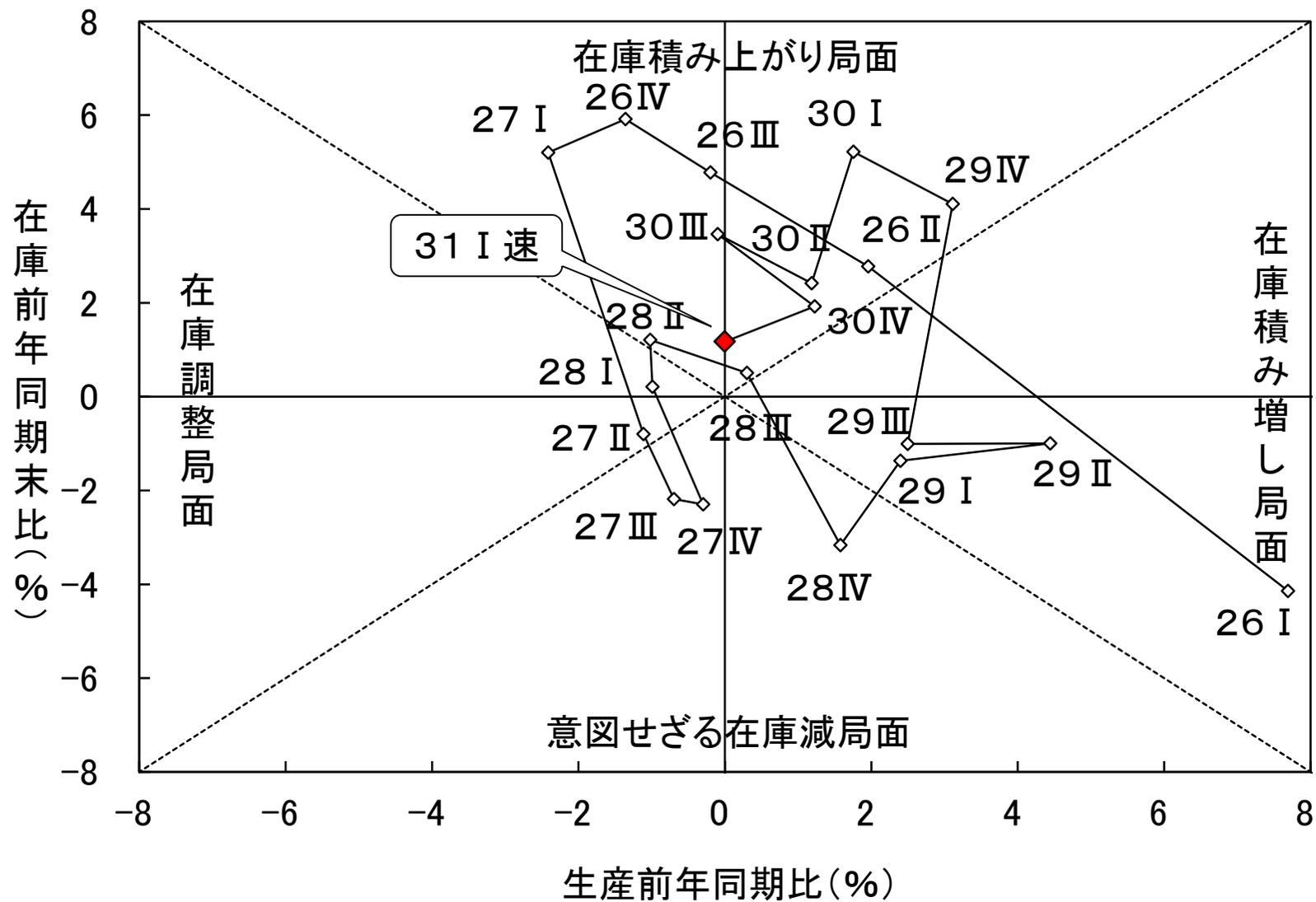


平成31年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	4.0%	15.3%
		合成洗剤	18.8%	1.3%
		乳液・化粧水類	5.8%	0.8%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.9%	-2.6%
		橋りょう	-28.9%	-1.1%
		エレベータ	-9.5%	-0.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.7%	-17.4%
		普通乗用車	-11.8%	-18.4%
		軽乗用車	-7.3%	-1.3%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	-8.0%	-24.0%
		一般用蒸気タービン	-96.2%	-6.8%
		ショベル系掘削機械	-13.0%	-4.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.5%	-33.2%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	-25.6%	-4.7%
		自動車用エンジン	-9.9%	-4.0%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業の在庫循環図



(注) 「31 I 速」の生産は1月の値、在庫は1月末の値を使用。

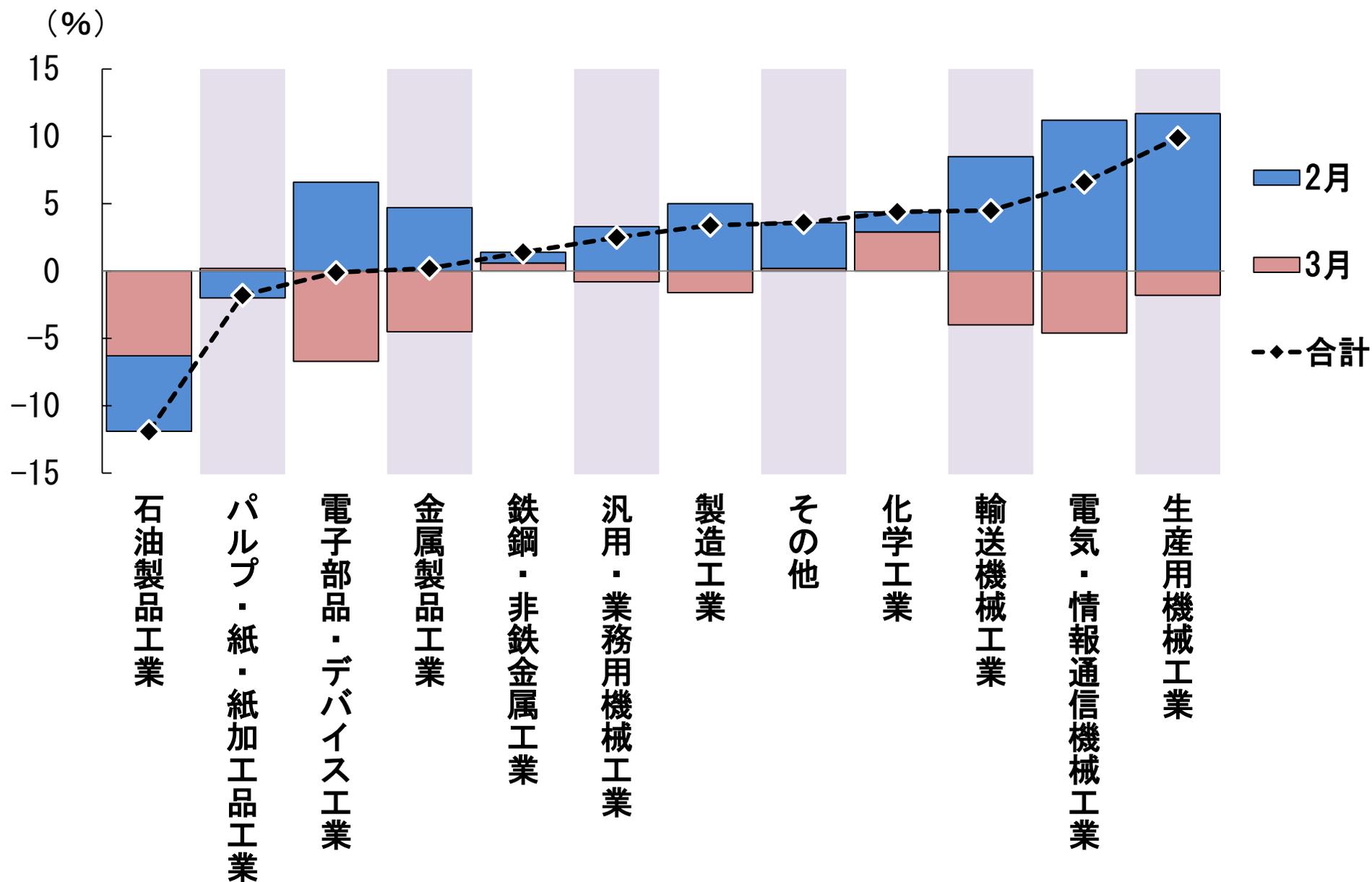
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成31年2月見込み	平成31年3月見込み
平成31年2月調査(今回)	5.0%	-1.6%
平成31年1月調査(前回)	2.6%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
2月前月比	0.4% (-0.6%～1.4%)	5.0%

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成31年2月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	8.5%
生産用機械工業	11.7%
電気・情報通信機械工業	11.2%
電子部品・デバイス工業	6.6%
汎用・業務用機械工業	3.3%
その他	3.4%
金属製品工業	4.7%

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	1.5%
鉄鋼・非鉄金属工業	0.8%
低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-2.0%
石油製品工業	-5.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成31年3月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	2.9%
鉄鋼・非鉄金属工業	0.6%
その他	0.2%
パルプ・紙・紙加工品工業	0.2%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-6.3%
汎用・業務用機械工業	-0.8%

低下寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	-1.8%
金属製品工業	-4.5%
電子部品・デバイス工業	-6.7%
電気・情報通信機械工業	-4.6%
輸送機械工業	-4.0%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

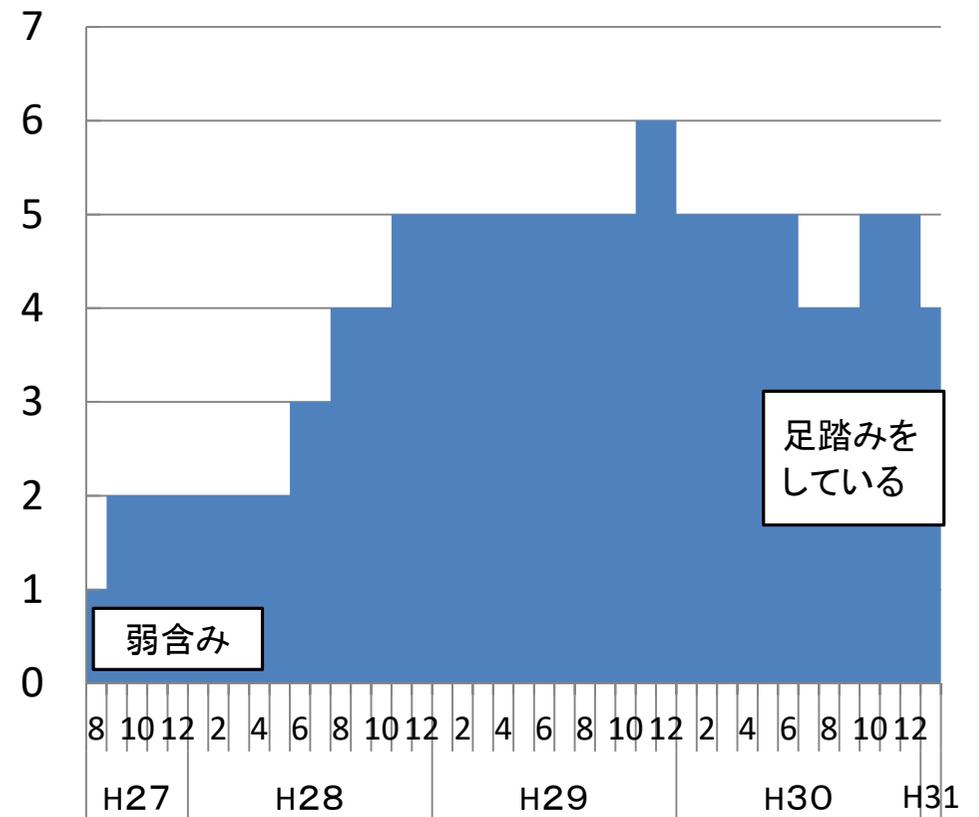
平成31年1月の鉱工業生産の基調判断

「生産は足踏みをしている」

基調判断の推移

- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月～平成29年12月
「生産は持ち直している」
- ・平成30年1月～6月
「生産は緩やかな持ち直し」
- ・平成30年7月～9月
「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・平成30年10月～12月
「生産は緩やかな持ち直し」
- ・平成31年1月～
「生産は足踏みをしている」

基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。